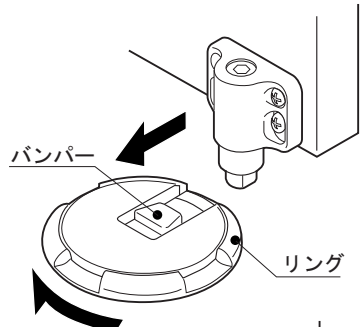


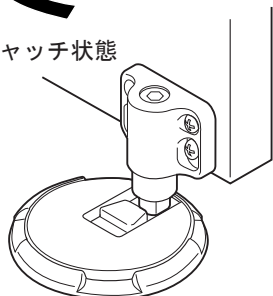
## ドアキャッチャー(戸当り)

### 特徴・動作

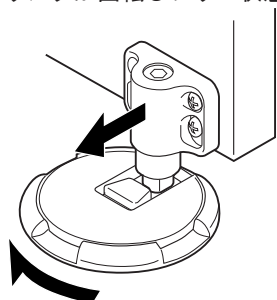
- ① 扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しキャッチ状態になります。



- ② キャッチ状態



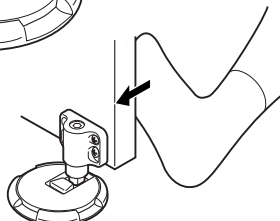
- ③ もう一度扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しフリー状態になります。



- ④ フリー状態



※扉がしなって押しづらい時は足で軽く押すと楽に作動させることができます。



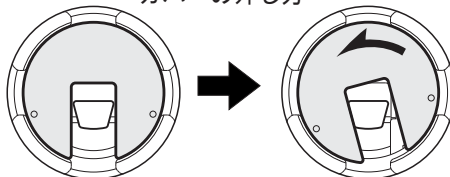
### 組立てとメンテナンス

ゴミ(砂や木屑など)が内部に入りますと動きが悪くなる事があります。そのような際は下記の手順に従ってメンテナンスを行ってください。

#### ◎動きが悪くなったら

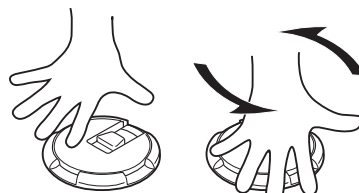
- ① ドアキャッチャーのリング部のみを手で回し、正常に軽く回るか確認してください。砂などがかみ込んでいますと、動きが悪くなります。蓋とリングを外し、掃除機をかけて砂を取り除きます。

#### カバーの外し方

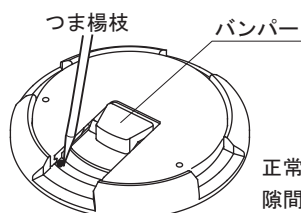


カバーは図の様に、手のひら等で蓋を左に回転させると外すことができます。付ける場合はこの逆の操作を行ってください。

カバーは手のひらで押しつけ回すと比較的楽に取外しができます。



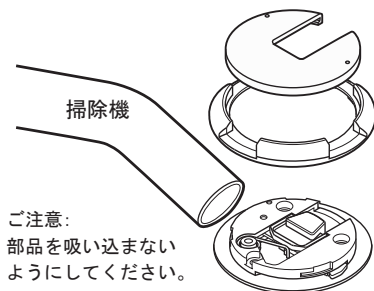
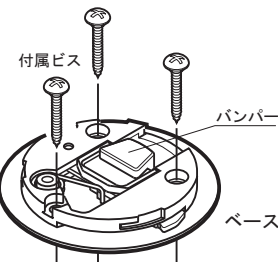
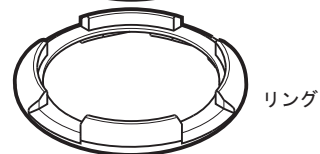
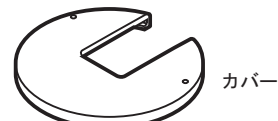
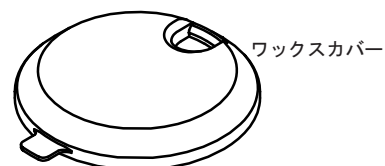
- ② ドアキャッチャーのバンパー部にゴミが挟まっていると動きが悪くなります。つま楊枝やエアードスターなどでゴミをかき出してください。



正常であれば、隙間は出来ません

#### ◎お手入れの仕方

- 定期的に乾燥したやわらかい布で軽く拭いてください。(必要以上に強くこすらないでください。キズが付くことがあります。)また、汚れがひどい場合は、水や中性洗剤を水で5~10%程度に薄めて浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- メンテナンス後はシリコンスプレーなどを可動部に軽く吹き付けてください。(CRC-556などの機械油は付け不要です。)



ご注意:  
部品を吸い込まないようにしてください。

### ⚠ ご使用に関するご注意

- 本製品施工後の耐荷重は押付方向40kgf、引き方向50kgfです。それ以上の荷重を加えますと、ストライクのピンが抜けてしまい、扉(ガラス戸)等が破損してケガをするおそれがあります。
- 製品の上に乗ったり、タンスや椅子等の重量物を乗せないでください。破損の原因になります。
- 本体にワックスをかけないで下さい。又、床をワックスがけする際は、付属のワックスカバーを上からはめて養生してください。ワックスカバーはワックスが完全に乾いてから外してください。
- ドアキャッチャーをご使用の際は必ず扉、レバーハンドル等に手を添えた状態で、押し付けるようにご使用ください。